



薬局

かぶしきがいしゃ やっきょく
株式会社ナカジマ薬局

本社／札幌市中央区北10条西24丁目2-15

TEL.011-633-2345 <https://www.nakajima-phar.co.jp>

創業／1977(昭和52)年8月 従業員数／580名 ※内、薬剤師275名(2025年4月現在)



もっと、くわしく
見てみよう!

職場見学可能です

? 調剤薬局って どんな仕事をするところ?



**医師の処方せんに基づいて、薬剤師が
薬を準備(調剤)し、お渡しします**

保険診療に基づき医師の発行する処方せんに従って調剤を行う薬局で、正式には「保険薬局」と言います。「薬剤師」は処方せんの内容を確認してから調剤をし、飲み方や効果、副作用等の説明をして、患者さまのお話もお聞きます。「薬局事務」は受付や会計、患者さまの情報の入力などを行います。



ナカジマ薬局の店内



**薬局はどんな
仕事をしているの?**



**薬局の一日を見ながら、
どんな仕事をしているか紹介します**



1 朝の準備

待合室の掃除や消毒、商品の整理整頓を行い、きれいな状態で患者さまを迎えます。



2 受け付け

患者さまの処方せんを受け取り、必要な情報をお聞きます。保険証の確認なども行います。



3 処方せんの確認

処方せんの内容を確認して、不明な点などがあれば、処方した医師に問い合わせます。



4 薬の準備(調剤)

処方せんに書いてある薬をとりそろえます。種類や数を確認しながら、ていねいに行います。



5 薬の確認(監査)

薬の種類や量に間違いがないかをしっかりと確認します。



6 説明(服薬指導)

薬の飲み方や注意点などをわかりやすく説明してからお渡しします。



7 情報(薬歴)の入力

患者さまの情報を正確に記録するために薬やアレルギーの情報を入力します。



8 閉店

薬局を閉めてから、売上報告や片づけをし、その日の仕事は終わりです。



**薬剤師は、ほかに
どんな仕事をしているの?**



**薬局の仕事は進化を続けています。
ご自宅や施設に訪問もします**

オンライン服薬指導



お薬の説明をご都合の良い時間にご自宅などの好きな場所で受けることができます。薬局での待ち時間を減らせるほか、外出による感染リスクも避けられます。日時を指定してご自宅で薬を受け取ることもできるため、忙しい方や体調がすぐれない場合にも便利です。

在宅訪問



薬剤師がお薬を調剤し、ご自宅やご入居されている施設にお届けにうかがいます。患者さまにあわせておくすりカレンダーなどを活用し、お薬を飲む時間毎にセットしたり、主治医の訪問診療に同行し、適切な処方内容で治療を継続できるようサポートいたします。



**ほかには、どんな
取り組みをしているの?**



**もしもの時や子どもたちの未来のために
必要な取り組みをしています**

災害時調剤支援車



災害のときに活動することができる車を北海道で初めて導入しました。救護所等で医療用医薬品の調剤と供給を行うことができる機能と停電時に電気の供給をすることができる発電機能もかねそなえています。この車で災害のときも安心して継続的な医療サービスを提供することが可能です。

災害のときに活動することができる車を北海道で初めて導入しました。救護所等で医療用医薬品の調剤と供給を行うことができる機能と停電時に電気の供給をすることができる発電機能もかねそなえています。この車で災害のときも安心して継続的な医療サービスを提供することが可能です。

キャリア教育



中学校等に訪問し、薬局や薬剤師の仕事紹介や、働くことについて考える出前講座など、「キャリア教育」「キャリア形成支援」などを行っています。薬剤師になるためには国家試験に合格する必要があります。大学卒業後、薬剤師国家試験を受験します。合格して厚生労働省に申請すると薬剤師名簿に登録され、薬剤師免許が与えられます。

中学校等に訪問し、薬局や薬剤師の仕事紹介や、働くことについて考える出前講座など、「キャリア教育」「キャリア形成支援」などを行っています。薬剤師になるためには国家試験に合格する必要があります。大学卒業後、薬剤師国家試験を受験します。合格して厚生労働省に申請すると薬剤師名簿に登録され、薬剤師免許が与えられます。

働く人の声を聞いてみよう!

Q&A



薬剤師
まさみ たくや
増井 卓也さん

Q.この仕事を選んだ理由は?

子どもの頃によく行っていた薬局の薬剤師の方がとても優しく、自分もこの人みたいになりたいと思ったことをきっかけに薬学部を意識するようになりました。人と話すことも好きだったので、患者さまと接することの多い薬局への就職を選びました。

Q.この仕事のやりがいは?

薬のことだけでなく、生活習慣やちょっとした悩みを相談してもらえる関係を患者さまとつくれるととてもうれしいです。薬に関する知識を深めることはもちろんのこと、気軽に頼れるような薬剤師になりたいと常に意識しています。

Q.この仕事を選んだ理由は?

「接客」と「事務」の両方に興味があったので、接客の要素もありパソコンに向かうデスクワークもある薬局事務は、いろいろなことにチャレンジできる仕事として魅力を感じたのが入社のきっかけです。

Q.この仕事のやりがいは?

薬局事務は薬剤師の仕事を支えるのと同時に、患者さまとのコミュニケーションを図り、患者さまの気持ちを支える環境を整えることも大切な仕事だと思っています。患者さまからの「ありがとう。頑張ってるね。」という言葉にやりがいを感じています。



薬局事務
すげがわ ひまり
祐川 向日葵さん